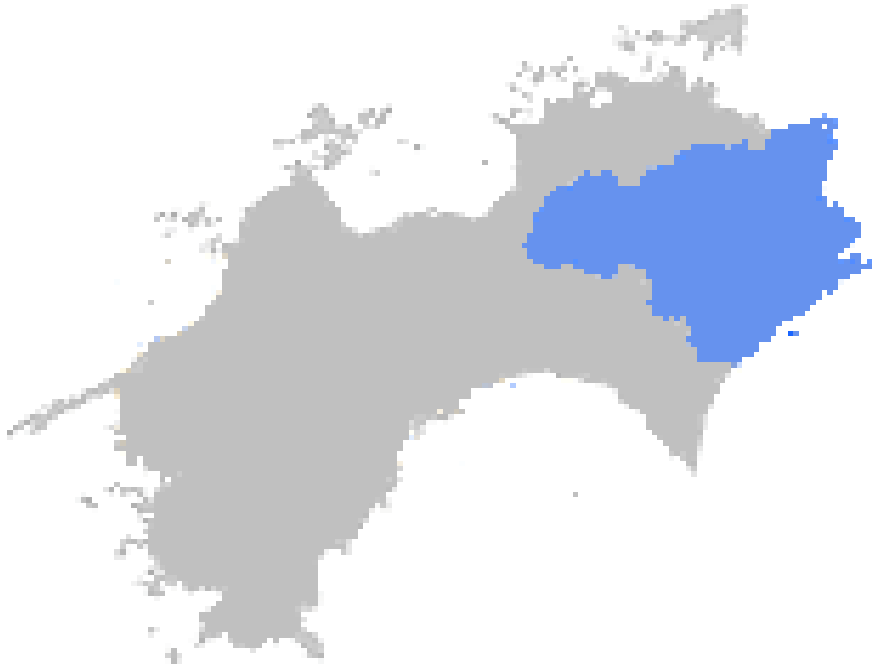
徳島県内経済情勢報告

令 和 ８ 年 １０ 月



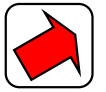
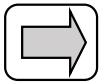
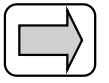
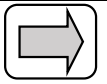
財　　務　　省

徳 島 財 務 事 務 所

徳島県内経済情勢報告

	令和８年７月判断	令和８年10月判断	総括判断の要点	７月判断との比較
総括判断	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある 【前回判断から上方修正】	個人消費は、スーパーやコンビニエンスストアが底堅いものとなっているほか、観光が回復していることから、全体としては緩やかに持ち直しつつある。 生産活動は、化学が回復しつつあるほか、金属製品が持ち直しつつあることから、全体としては持ち直している。 雇用情勢は、持ち直しつつある。	

〔先行き〕
先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

項目	令和８年７月判断	令和８年10月判断	７月判断との比較
個人消費	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある　【前回判断から据え置き】	
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	持ち直している　【前回判断から上方修正】	
雇用情勢	持ち直しつつある	持ち直しつつある　【前回判断から据え置き】	
公共事業	前年度を上回っている	前年度を上回っている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
設備投資	８年度は前年度を下回る見込み	８年度は前年度を下回る見込み	

※　８年10月判断は、前回８年７月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費

個人消費
緩やかに持ち直しつつある

○スーパーは、衣料品が弱い動きとなっているものの、飲食料品が底堅い動きであることから、全体としては底堅いものとなっている。

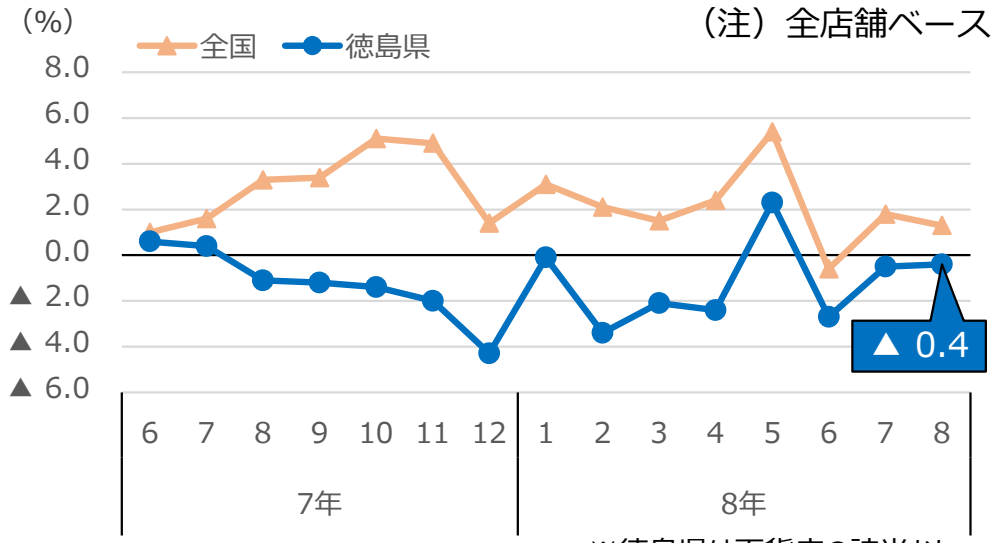
○コンビニエンスストアは、おにぎりや冷凍食品で弱い動きとなっているものの、飲料やファーストフードに動きがみられることから、全体としては底堅いものとなっている。

〔主なヒアリング結果〕

«スーパー»
○値上げによって売上高は維持されているが、節約志向は根強く、買上点数は減少傾向。消費者はポイントデーやチラシ特売などを活用しながら、ドラッグストアを含め、購入店舗を使い分ける傾向がみられる。
○衣料品は健康系肌着に動きがみられるものの、全体としては前年を下回って推移している。
○野菜、果物、鮮魚に動きがみられる。

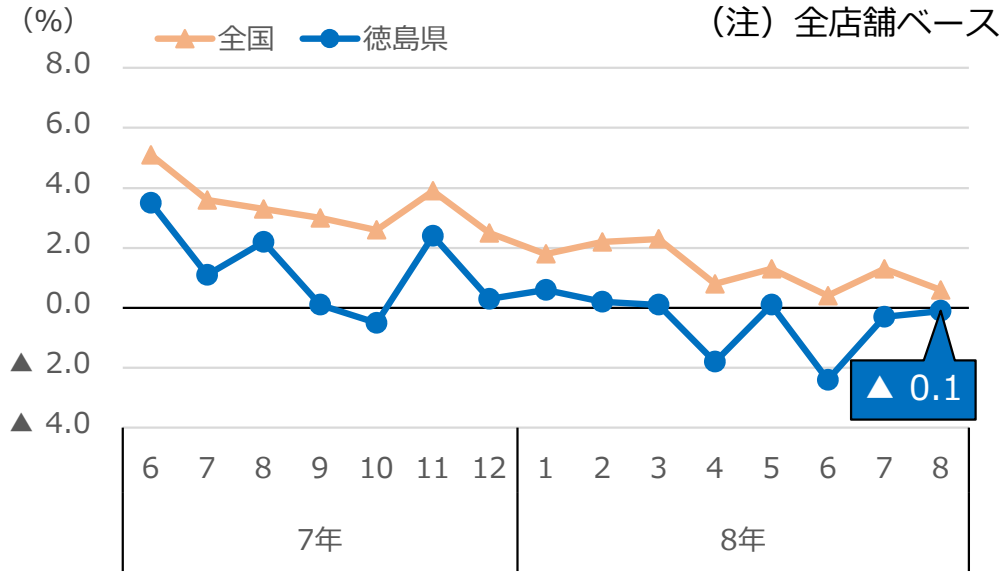
«コンビニエンスストア»
○おにぎりは様々な販促を行っているものの、効果は限定的であり、販売数量が減少している。
○各種キャンペーンや阿波踊り時期の好調な客入りが寄与し、飲料やファーストフードに動きがみられる。

〔百貨店・スーパー販売額（前年同月比）〕



※徳島県は百貨店の該当なし。

〔コンビニエンスストア販売額（前年同月比）〕



【出所】 経済産業省

個人消費

○ドラッグストアは、化粧品に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。

○ホームセンターは、エアコン及び関連部材に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。

○家電大型専門店は、テレビや冷蔵庫等で弱い動きとなっているものの、エアコンに動きがみられることから、全体としては底堅いものとなっている。

○乗用車の新車登録・届出台数は、軽乗用車が前年を下回っているものの普通車及び小型車が前年を上回っていることから、全体としては前年同期（7－9月）を上回っている。

○観光は、国内客数、外国人客数ともに増加しており、回復している。

○旅行は、国内旅行、海外旅行ともに緩やかに持ち直しつつある。

〔主なヒアリング結果〕

«家電大型専門店»
○エアコンについては、2027年問題（省エネ基準の厳格化）を見据えた買い替え需要が続いている。

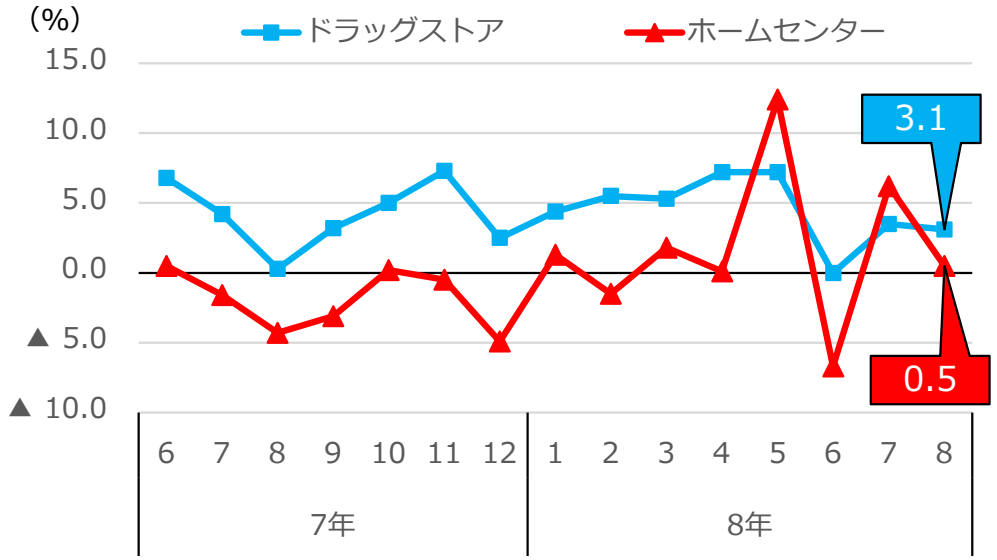
«乗用車»
○普通車及び小型車では、メーカーからの供給状況の改善により、販売台数が増加したほか、新型車人気が販売を牽引している。

«観光»
○７～８月は、期間を通して好天に恵まれたほか、曜日並びもよく、国内客数、外国人客数ともに前年を大きく上回っている。

«旅行»
○国内旅行については、企業の団体旅行の申し込みが伸びた。海外旅行についても、大型の団体旅行案件があったほか、国際線燃油サーチャージの値下げに伴い、足下では問い合わせが増加傾向である。

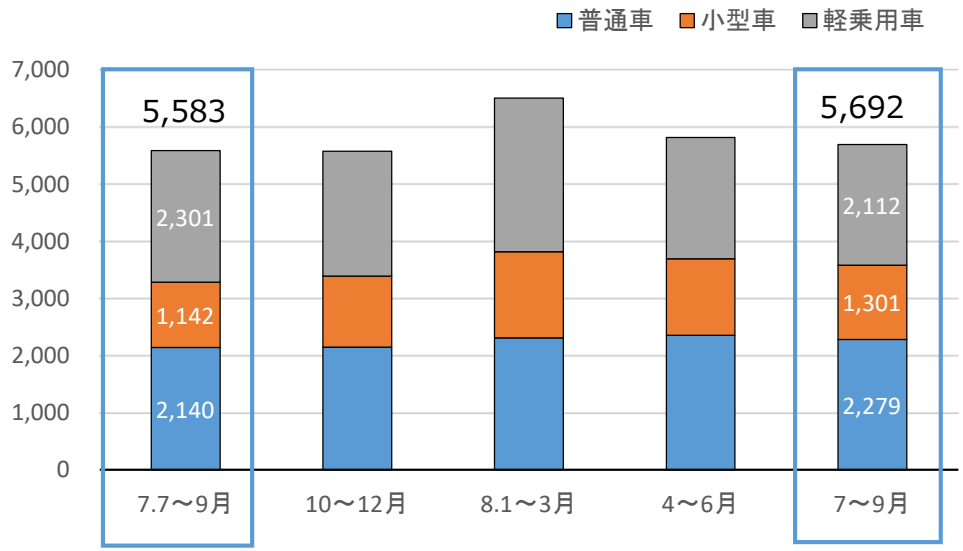
〔徳島県の専門量販店販売額（前年同月比）〕

（注）全店舗ベース



【出所】経済産業省

〔徳島県の乗用車新車登録・届出台数〕



【出所】（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会のデータから算出

生産活動

<u>生産活動</u>
持ち直している

○化学は、回復しつつある。

○金属製品は、持ち直しつつある。

○木材・木製品は、弱い動きとなっている。

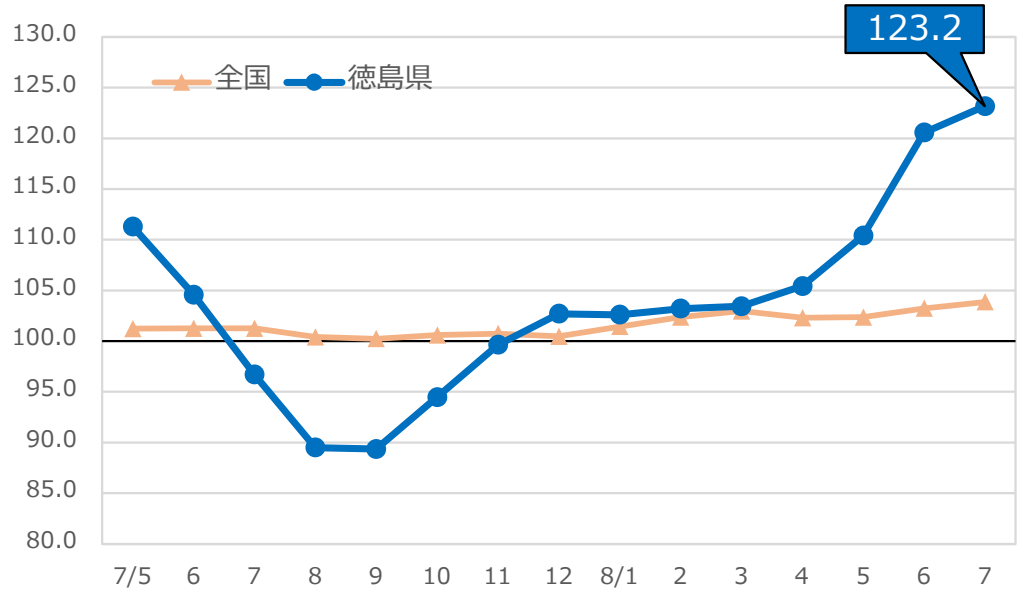
〔主なヒアリング結果〕

«化学»
○医薬品については、需要は安定しており、当初計画を上回って順調に生産している。

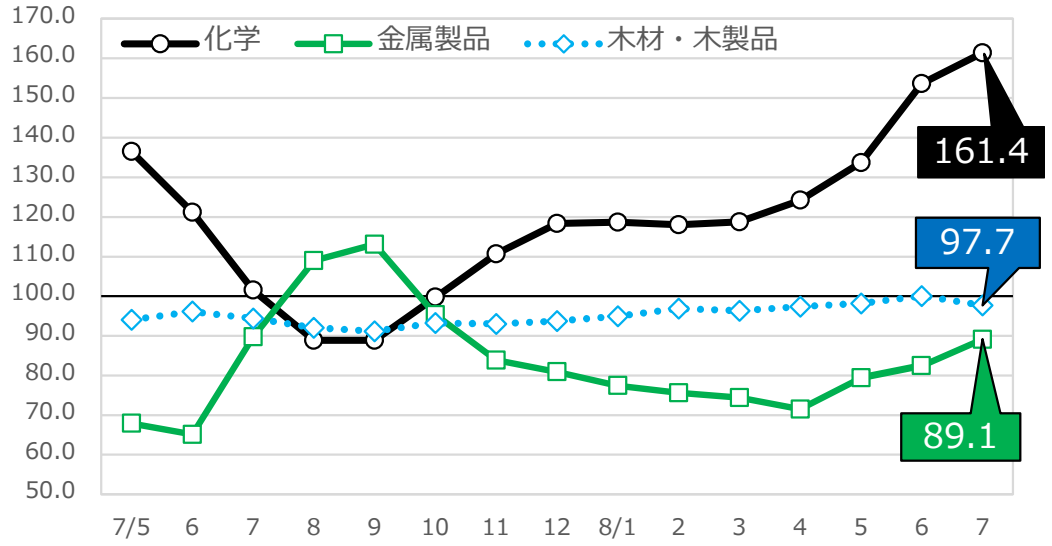
«金属製品»
○半導体関連製品向けや自動車向けの受注が堅調であり、生産量が増加している。

«木材・木製品»
○ナフサ不足による住宅着工の停滞が解消しつつあるものの、住宅需要の低迷が続いている。

〔徳島県の鉱工業生産指数(季節調整済指数、3か月移動平均、令和2年＝100)〕



【出所】経済産業省、徳島県の公表データから算出



【出所】徳島県の公表データから算出

生産活動

○電気機械は、足踏みの状況にある。

○はん用・生産用・業務用機械は、緩やかに持ち直している。

○食料品・飲料・飼料は、緩やかに持ち直しつつある。

○パルプ・紙・紙加工品は、緩やかに持ち直しつつある。

〔主なヒアリング結果〕

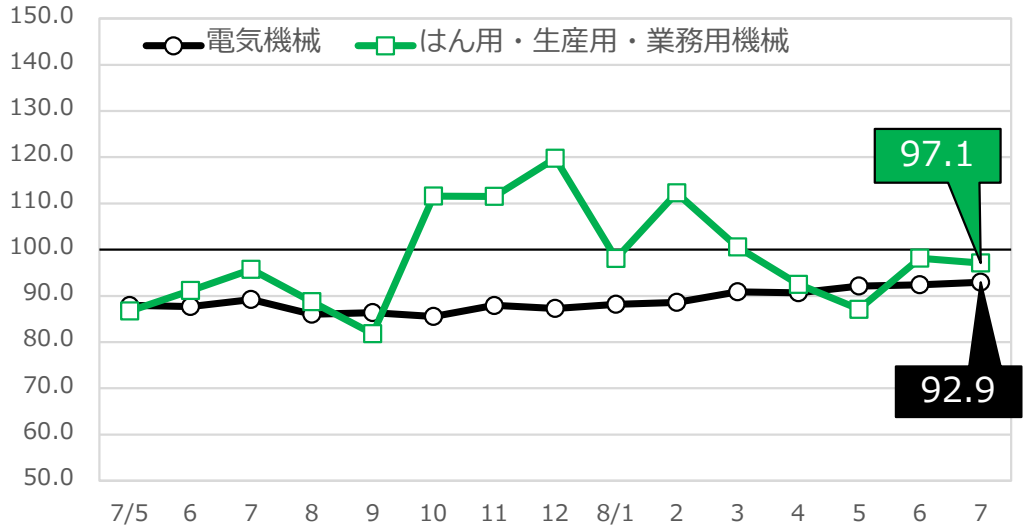
«電気機械»
○車載向けの需要は増加しているものの、一部材料向け需要は伸び悩んでいる。

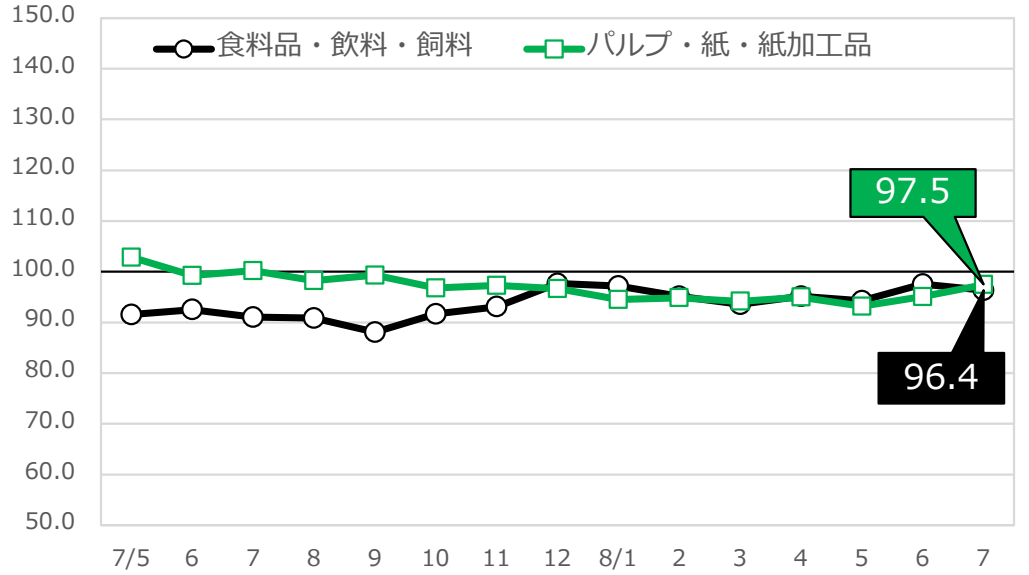
«はん用・生産用・業務用機械»
○生産用機械については、受注残が豊富であり、生産は高水準を保っている。

«食料品・飲料・飼料»
○原材料価格の高騰によるコスト負担増がみられるものの、一部商品の売上高や生産量に増加がみられる。

«パルプ・紙・紙加工品»
○国内需要は減少傾向であるものの、足下の生産量はやや上向いている。

〔徳島県の鉱工業生産指数(季節調整済指数、3か月移動平均、令和2年＝100)〕





【出所】徳島県の公表データから算出

雇用情勢

雇用情勢
持ち直しつつある

○有効求人倍率は、概ね横ばいの状態である。

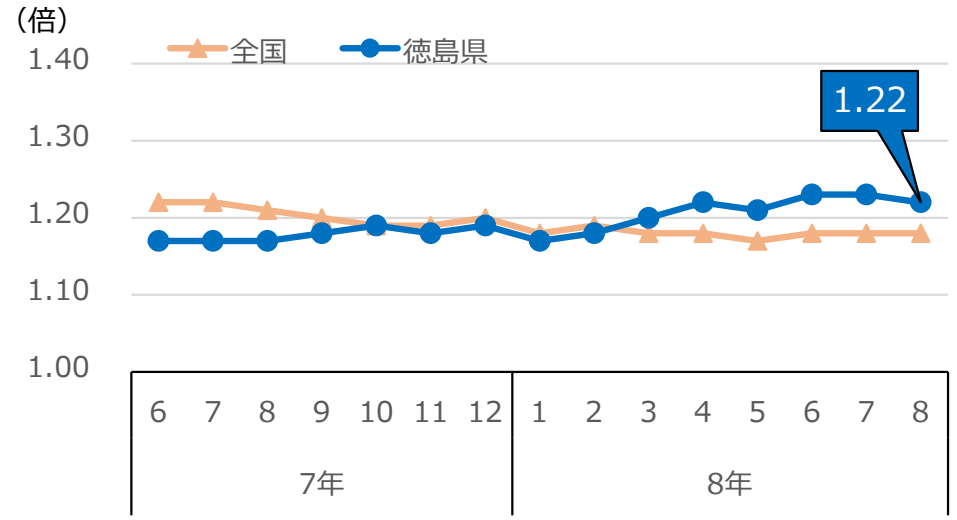
○新規求人数は、前年同期（６－８月）を上回っている。

〔主なヒアリング結果〕

○人手不足の影響について、「高卒採用者の応募が無く、一般採用枠を増やしたり、アルバイトを正社員にしたりするなどして、人材確保を考えなければならない（製造業）」などの声が聞かれている。

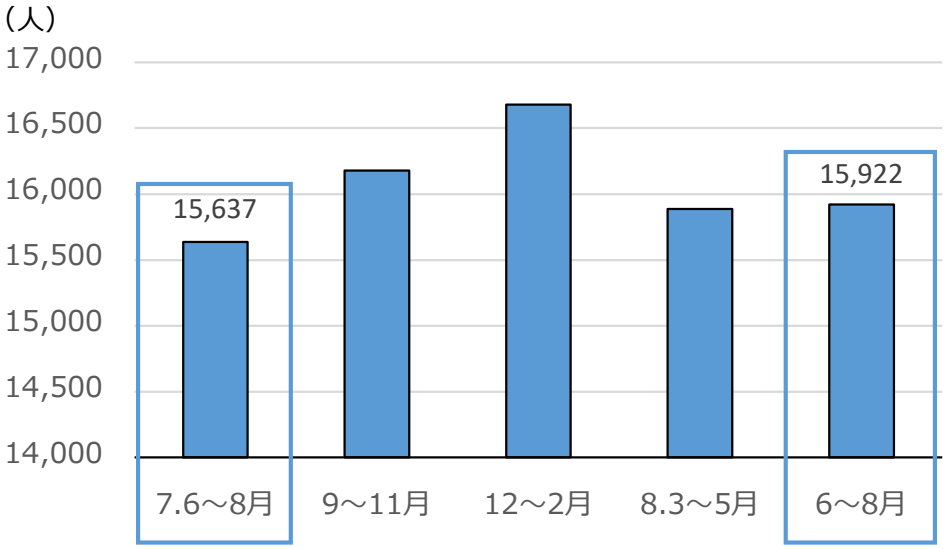
○最低賃金引き上げの影響について、「ハウス用のビニールや種籾、薬剤、肥料等の価格が高騰する中での最低賃金引き上げは経営に大きな影響を与える（農業）」などの声が聞かれている。

〔有効求人倍率（季節調整値）〕



【出所】厚生労働省

〔徳島県の新規求人数（原数値）〕



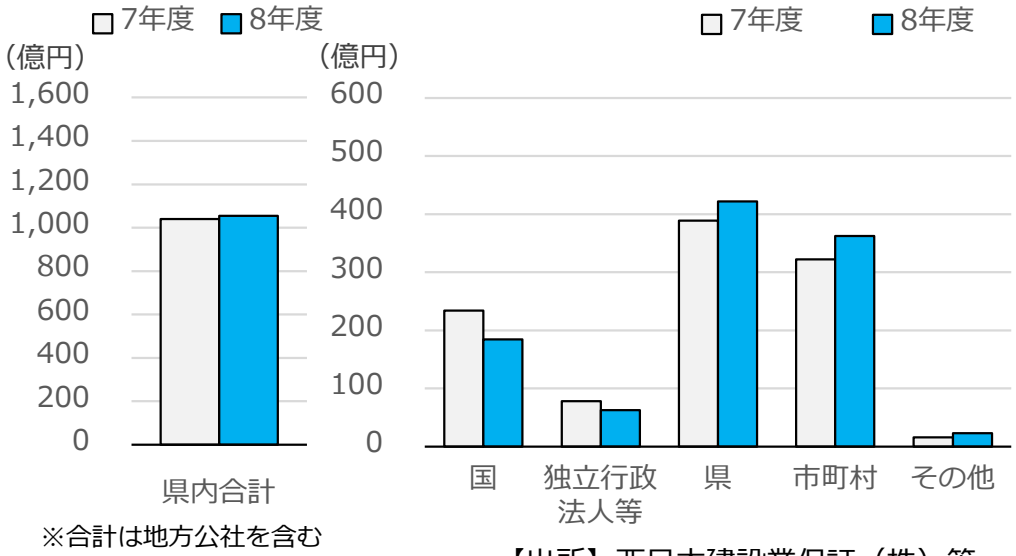
【出所】厚生労働省の公表データから算出

公共事業・住宅建設

公共事業
前年度を上回っている

○前払金保証請負金額でみると、国及び独立行政法人等は前年度を下回っているものの、県及び市町村は前年度を上回っていることから、全体としては前年度を上回っている。

〔徳島県の公共工事前払金保証請負金額（９月累計額）〕



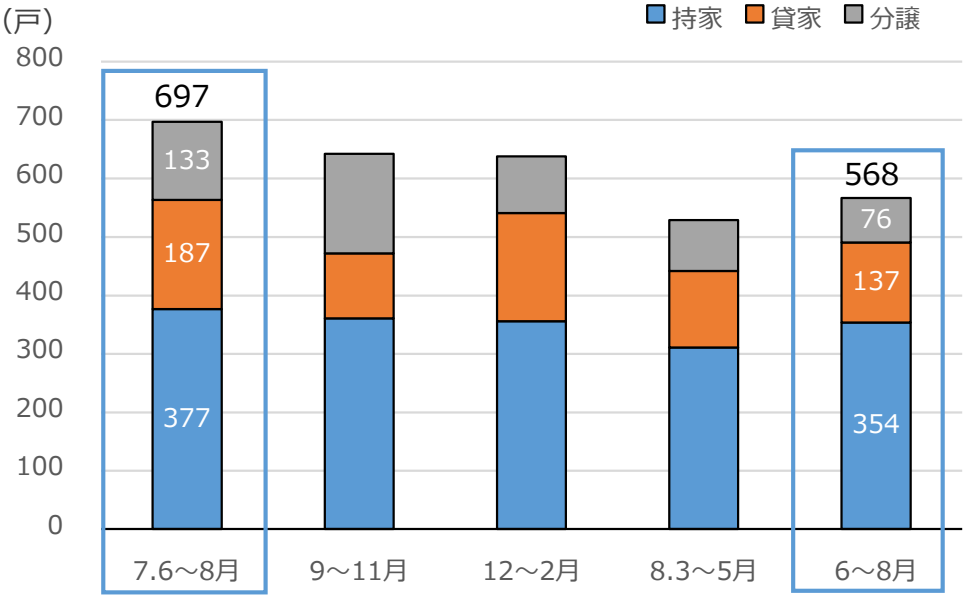
※合計は地方公社を含む

【出所】西日本建設業保証（株）等

住宅建設
前年を下回っている

○新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家、分譲住宅いずれも前年同期（６－８月）を下回っている。

〔徳島県の新設住宅着工戸数〕



※合計は給与住宅を含む

【出所】国土交通省の公表データから算出

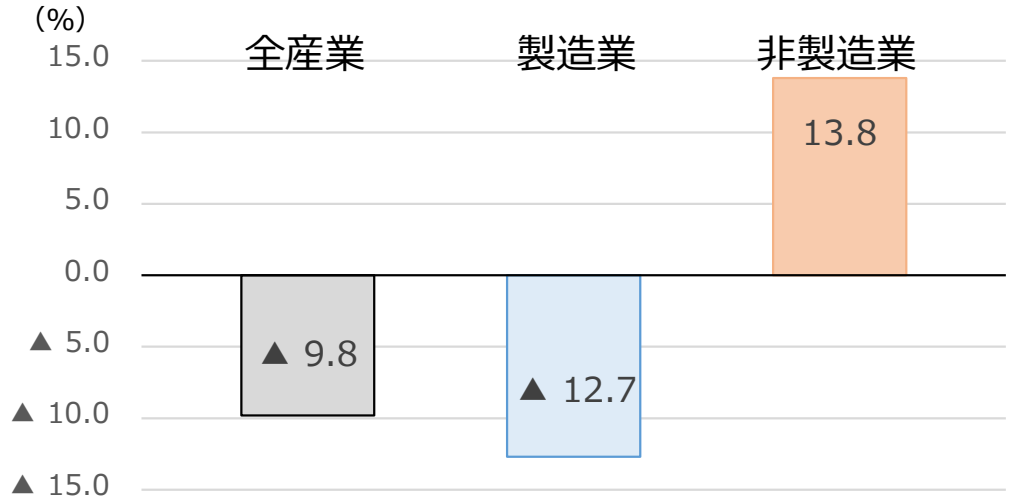
設備投資・企業倒産・消費者物価

設備投資
８年度は前年度を下回る見込み

企業倒産
件数、負債総額ともに前年を下回っている

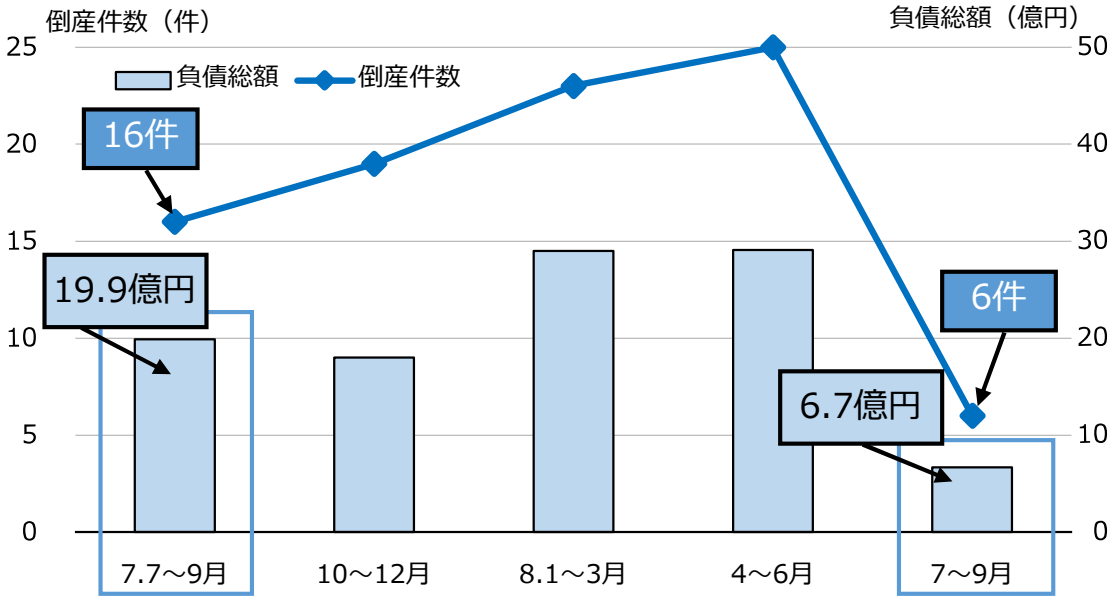
消費者物価
前年を上回っている

〔徳島県の設備投資（前年度比）〕



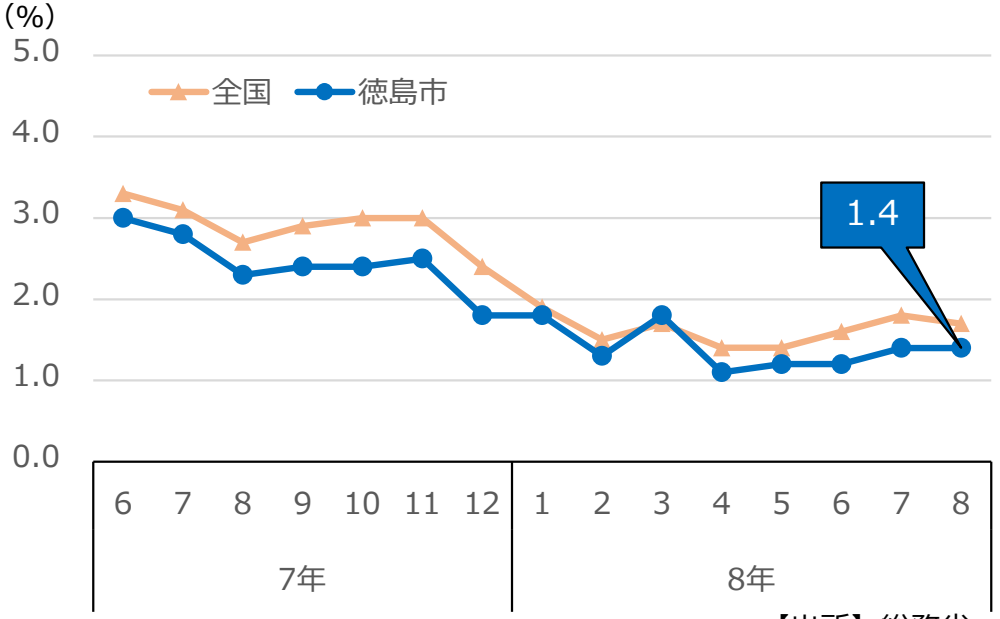
※8年7～9月期調査の結果
※ソフトウェア含む、土地除く　【出所】徳島財務事務所（法人企業景気予測調査）

〔徳島県の倒産件数・負債総額（負債額1,000万円以上）〕



【出所】東京商工リサーチの公表データから算出

〔消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、前年同月比、2025年=100 ）〕



【出所】総務省



●お問い合わせは

ＴＥＬ　（０８８）６２２－５１８１　　総務課（内線２０１）　又は
財務課（内線２１０）　へ

徳島財務事務所
https://lfb.mof.go.jp/shikoku/tokushima/index.html

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。